

山行報告書

報告書作成

2012年5月23日

山名 [山域]	北アルプス・後立山連峰	目的と方法	後立山連峰の展望
登山期間	2012/5/4(金)～5(土)	山行形態	小屋素泊まり1泊2日
参加人数	2名		

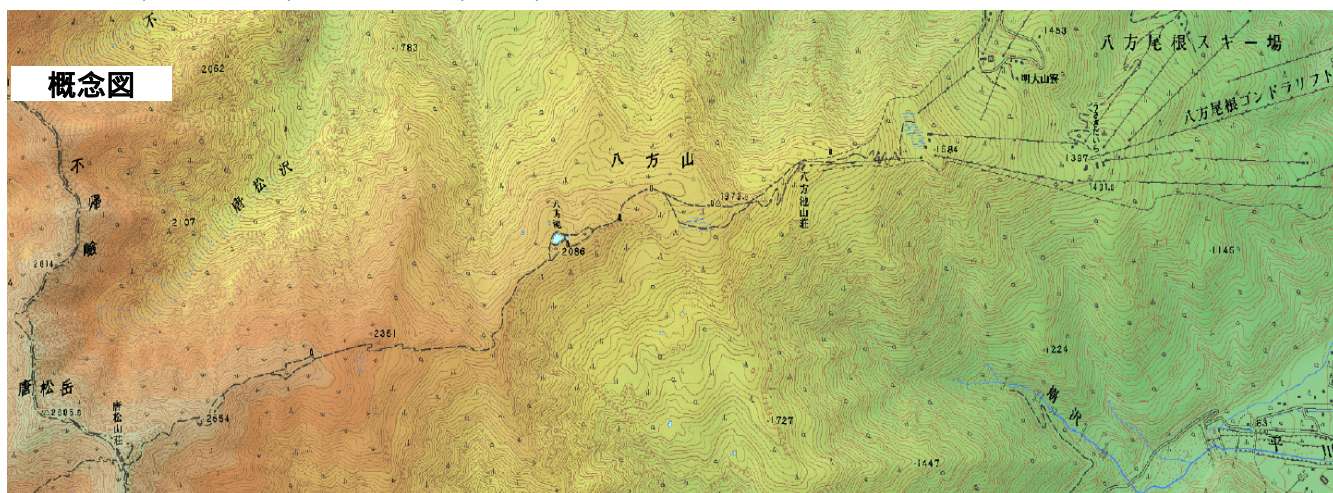
行動記録

1日目

K宅(4:30) = 0:05 = 岡崎IC(4:35) = 1:25 = 小黒川PA(6:00,6:20) = 0:35 = 豊科IC(6:55) = 1:35 = 八方尾根パーキング(8:30,9:10) = 0:30 = 八方駅(9:40)++0:35++八方池山荘(1830m/10:15,10:20) 0:45 第3ケルン(2070m/11:05,11:30) 1:52 丸山ケルン(2430m/13:22) 1:28 唐松頂上山荘 TS1(2620m/14:50)

2日目

起床 3:30 TS1(9:30) 1:30 丸山ケルン(11:00) 2:00 八方池山荘(13:00)++0:30++八方駅(13:30) 0:10 八方尾根パーキング(13:40,13:50) = 0:10 = 白馬八方温泉(14:00,14:45) = 2:55 = 豊科IC(17:40) = 0:55 = 辰野PA(18:35,19:00) = 3:10 = K宅(22:10)



概念図

日誌

天候が心配な中、岡崎を出発。GW中ではあったが、スムーズに八方のPKGへ到着。ちょうど白馬のあたりは桜の季節で沿道沿いのお花見が楽しめた。天気予報は曇り。予報通り雲が掛かっていた。唐松岳ふもとの八方尾根スキー場は5/6(日)までスキーが楽しめるため、PKGにもスキーヤーの姿が多い。駐車場は無料。八方池山荘までは、ゴンドラ、リフトを乗り継いでラクラク標高1830mまで到着。尾根上の登山道は雪が溶けている。日差しも差ってきて、春の陽気の中進んでいく。

第三ケルンあたりから雪道に変わるも凍結している様などころはなく、トレースのハッキリしている道をつぼ足で進む。八方池あたりから小雨が降り出す。風も少し出てくる。雲がかかってきて、まわりの展望はきかず、トレースを頼りに進む。丸山ピークの手前で、雷鳥(オス)に遭遇！初めて山でお目にかかれた。近くに寄っても人を恐れることなくハイマツの中を歩いていく。風も次第に強くなるが、気温が高いため雨から雪に変わることはなく。冬山ほどの厳しい寒さを感じない、GWは春山なんだと実感。ただ、風が強く途中、立ち止まりながら進む。少しおなか为空くも止まって何かを食べる気になれずそのまま歩く.....これが、失敗！歩きながらでも食べられるよう工夫しておくべきだった。反省。稜線に出たら風がさらに強くなり、あられ(?)がよこから顔にたたきつけるようになり痛い思いをした。なんとか山荘に到着。素泊まりだったが、山荘内では自炊禁止.....やるなら外でとのことだったが、この強風では到底出来ないため行動食等で食事とする。翌日の昼ぐらいに天候が回復するというニュースが流れるが、かなりの強風が吹きあれていることが小屋内にいても分かる。小屋泊まりにして良かった。

2日目。天候回復を待つも、強風は収まらず、山頂付近もガスが晴れないため頂上への登頂は諦め、来た道を帰ることに。下っていくと天候回復してきて、五竜・鹿島槍・爺ヶ岳がハッキリ望める。もちろん唐松岳も。きっと山ってこんな感じだから、また来たくなるんだろうなと実感する。1日目では視界不良のため分からなかった広い展望を感じます。

感想

好天でなかったため、お目当ての展望を望むことは出来ませんでした。悪天の中、雷鳥に遭遇でき強風を体験でき雪山でしゃりバテにならないような対策の大切さを改めて感じる事が出来ました。山は、どんな状況でも学ぶことは多く、今度来るときもまた違った経験ができるから、また来たくなるんだろうと思いました。